

大学の選び方

受験専門家座談会

2013年入試はこうなる

学部別入試難易ランキング
私立大学入試目カレンダー

Super Real学生生活

憧れのキャンパス
ライフに密着!

大学マネー入門講座

4年間にかかる学費 奨学金
アルバイト
アパート・学生寮・シェアハウス

最新「就活」事情

就活の勝ち組・負け組
就職専門家からのアドバイス
大学の取り組み

入試データから卒業生の就職先まで

全国1536学部 徹底ガイド

国士舘大学

文学部



(写真上、左) 海岸からサンゴ礁までの距離を測り、サンゴ礁の状態を観察する。農地から流れる赤土がサンゴ礁に影響を与えている現状に「陸が変われば海が変わる」ことを実感。
(写真右) 専用の計器を持って海に入る

沖縄の海に潜って サンゴ礁の調査



地理学的なものの方や考え方を机上だけで身につけるのは困難との考えから、文学部地理・環境専攻では、多くの野外学習が行われている。

長谷川均教授ゼミの「沖縄のサンゴ礁調査」もその一つ。毎年秋に沖縄の離島に行き、サンゴが息をする場所の水深や陸上からの距離などを測量し、サンゴ礁の状態を観察しながら、その海域や陸域の環境についても考える。自然が相手の実習は、想定外の問題が起きたりすることもしばしば。その場で臨機応変に対処していかなければいけない。

実習は海の中で数時間も泳ぎながらの作業になることも。体力勝負の学習だ。

写真: 福永代志時、長谷川均